

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年09月15日

計画の名称	長島町における通学路の交通安全確保による安心・安全で暮らしやすい地域づくり（防災・安全）													
計画の期間	平成30年度 ~ 令和04年度（5年間）											重点配分対象の該当	○	
交付対象	長島町													
計画の目標	通学路安全計画に基づいた合同点検等により抽出した通学路の危険箇所における安全性を向上させることにより、安心、快適に生活できる地域社会を構築する。													
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）		930	A	930	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30当初	H32末	H34末
1	・通学路の合同点検等により抽出した道路整備に関する要対策箇所の対策済率を100%にする。			
	通学路の合同点検等により抽出した道路整備に関する要対策箇所数の対策済率	0%	0%	100%
	「要対策箇所の対策済率」＝ 通学路の道路整備に関する対策済箇所数（箇所）/通学路の道路整備に関する要対策箇所数（箇所）			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
・（国土強靱化地域計画名）に基づき実施される要素事業：A1～A6全て【 防災・安全交付金の整備計画にのみ記載】・（定住自立圏共生ビジョン名）に基づき実施される要素事業：A4-3・（連携中枢都市圏ビジョン名）に基づき実施される要素事業：A4-3												

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	道路	一般	長島町	直接	長島町	市町村 道	改築	（ ２ ）瀬戸小島線・火ノ 浦工区	現道拡幅 L=0.47km	長島町	■	■	■	■	■	350		-
	A01-002	道路	一般	長島町	直接	長島町	市町村 道	交安	（ １ ）指江川内線・川内 工区	現道拡幅 L=0.86km	長島町	■	■	■	■	■	430		-
	A01-003	道路	一般	長島町	直接	長島町	市町村 道	交安	（ 他 ）渡釜線・蔵之元工 区	歩道整備 L=0.4km	長島町			■	■	■	150		-
												小計						930	
											合計						930		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
通学路の合同点検により抽出した道路整備に関する要対策箇所の対策済率を調査	令和5年9月
	公表の方法
	長島町HPにて公開

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	通学路交通安全プログラムの対策必要箇所について、対策箇所の解消率は100%に対して67%であったが、2路線の対策が解消され通学路の安全性が確保できた。 瀬戸小島線・火ノ浦工区 指江川内線・川内工区 解消 渡釜線・蔵之元工区 未解消
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	通学路の歩道整備により、4小中学校の通学時の安全性が向上した。

○特記事項（今後の方針等）

渡釜線については、通学路緊急対策において継続的に要対策箇所の解消に向けて取り組んで行く。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	通学路の合同対策等により抽出した道路整備に関するよう対策箇所数の対策済率		
	最 終 目標値	100%	3 路線中 2 路線の対策が完了。渡釜線が未完了であるが、交通安全対策補助を活用し解消を図っていく。
	最 終 実績値	67%	